

(新) 良好な感覚環境形成のための街作りの推進調査

10百万円(0百万円)

水・大気環境局 大気生活環境室

1. 事業の概要

都市更新の機会をとらえて、高度成長期の建物等の量的充足に重心を置いた街作りから、熱(ヒートアイランド)、光(光害)、かおり(悪臭)、音(騒音)といった人間の感覚を重視した街作りへの転換を推進することで良好な生活環境を確保することが重要である。そのため、以下のような五感を重視した街作りのための検討を推進し、情報発信を行うことにより社会システムの構築を図る。

感覚環境の街作り推進のための検討

感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22
感覚環境の街作りの推進			
			→

3. 施策の効果

感覚要素を重視した感覚環境の街作り推進することで、従前から進められている利便性・効率性の追求に加え、より「質」の高い生活環境を実現するための社会システムを構築できる。

4. 備考

調査費 10,000千円

(内訳) 感覚環境の街作り推進のための検討 6,338千円

感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催

3,662千円

感覚環境の街作りの推進

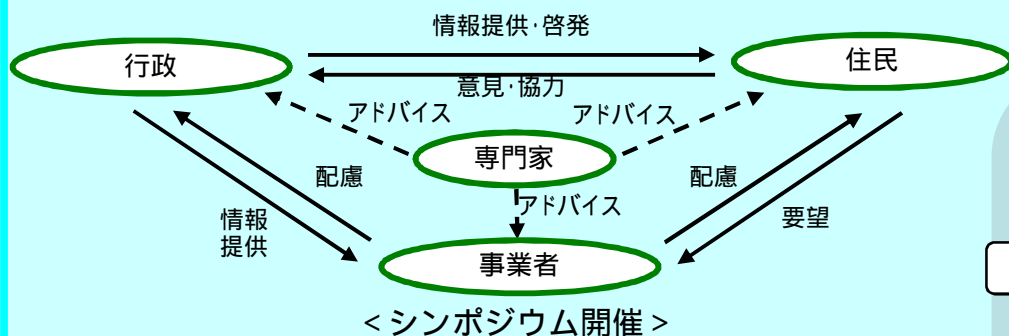
現状の問題点と課題

住民のニーズが量から質に転換していることから、高度成長期に形成された第一世代の都市から環境共生型の第二世代の都市に再編することが必要

施策の方向

生活環境の質的なニーズに対応するために、熱（ヒートアイランド）、光（光害）、かおり（悪臭）、音（騒音）といった人間の感覚を重視した街作りを総合的に推進することで良好な生活環境を確保

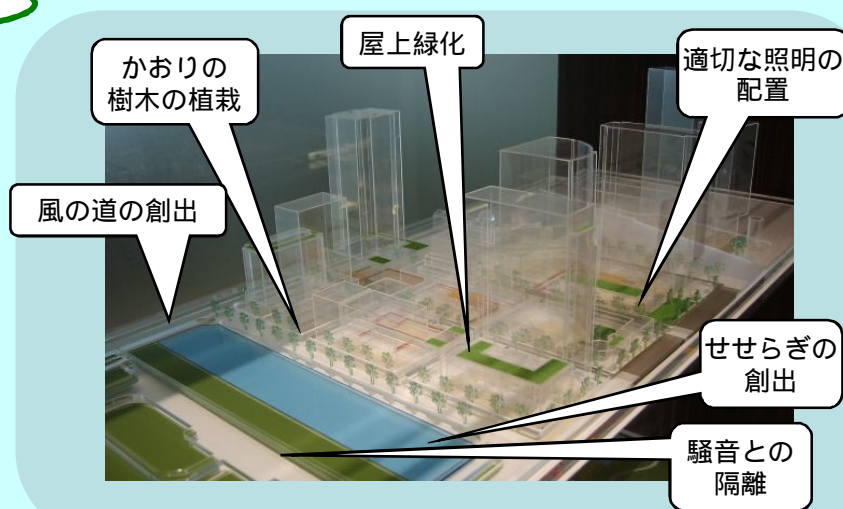
<社会システムの構築>



<シンポジウム開催>



<感覚環境の街作り推進のための検討>



必要な予算措置

感覚環境の街作り推進のための検討経費

感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催